

(別紙の2)

自己評価及び外部評価票

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己 外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	会社理念「コミュニケーション」と「生活リハビリ」、施設目標の「個人でできる事を尊重し日常生活に生かせる場所にします」を掲げて、共有と実践をしています。	職員は、利用者が自分でトイレに立つ・洗濯物を干すなど、日々の実践の中で、自分らしさを発揮出来るように、理念の具現化に努めています。毎月の会議において、理念の共有と実践を確認しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナの影響がまだあり、行事等への参加はほとんど出来ていませんが、敬老会でボランティアさんをお呼びしたり、地域の中学校から文化祭への招待を受けています。	中学校の文化祭の招待を受けたり、地域のお祭りへ参加したり、散歩中の挨拶や会社の施設を地域の人たちの交流の場として提供するなど、地域との付き合いを積極的に行っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	今年度は、短大生の実習と中学生の職場・福祉体験学習の受け入れを行いました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見をサービス向上に活かしている。	家族代表、民生委員、地域包括支援センターの職員さんに出席して頂き、利用者の状況、サービス提供、健康状況、苦情・事故状況、収支状況等を報告しています。意見を頂いた際は業務に生かさせていただいております。	委員から地域の情報を頂いたり、日々の利用者の生活状況の報告を行っています。また、外部評価の結果を報告して意見等をもらっています。出された意見等は職員に報告し、日々のサービスに活かすよう努めています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	2か月に一度の運営推進会議に、地域包括支援センターの職員さんに出席していただいております。	基準等の改正の内容や入居者に関する事、相談したい事など、市の担当職員と連絡を取り合っています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	3か月に一度、身体拘束ゼロの手引きをもとに社内研修を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	社内研修プログラムに沿って実施しており、身体拘束について事業所での事例を検討し、更に評価を行うなど、職員が気づきを持つことのできる研修となっています。身体拘束排除宣言を明記して、取り組んでいます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止委員が施設内で研修会を行い、皆で周知し虐待防止に努めております。		

自己	外部	項 目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、成年後見制度を利用している利用者はいませんが、社内研修を通して理解し、共有しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居前には見学して頂き、契約時には契約書及び重要事項説明書の読み合わせを行い、理解・納得していただいて契約できております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議に、利用者やご家族代表の方に参加して頂き、意見等頂いております。又、家族の訪問時など、随時、意見・要望等を受け入れています。	利用者からは、干し柿作りをしたい・誕生日プレゼントは～などのやりたい事の意見を聞き、家族等からは、面会時及び電話等でこまめに連絡を取り合っており、意見を聞くよう努めています。出された意見等は記録して、職員会で話し合い、反映するよう努めています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1度、開設者が参加する全体会議を行い、意見等出し合い、話し合う場を設けています。	トップとは、年に1回1対1で話し合うとともに、毎月の全体会等で話し合いが行われています。食費の高騰に対する対応など、管理者や職員で意見を共有し、運営に反映するよう努めています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個別人事評価表にて、複数の視点から個人の勤務状況などを把握しています。昇給に関しては、毎年4月に[勤続給+技能給]=基本給という形で、賃上げの努力をしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	初任者研修や実務者研修など、出勤扱いで受講しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	研修会に参加した際など、交流が出来るよう努めております。		

自己 外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前には本人との面談を行い、不安や要望等をお聞きし見学してから入所して頂いております。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前にご家族と面談を行い、不安なこと、要望等をお聞きし、出来る限り応えられるように努めております。		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	アセスメントを行い、入居前のケアマネージャーさんと連絡を取り、相談させていただいています。		
18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日常の家事(洗濯物干し・たたみ、掃除、食事の準備)等と一緒にしながら、家族のような関係に少しでも近づけるように心がけています。		
19	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	常日頃から連絡を取り、ご家族に本人の状況や要望等を伝えています。その都度対応して下さるご家族がほとんどです。		
20	(8) ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	昔からのかかりつけ医に受診をしている方、コロナの感染状況を見ながらですが、ご家族との面会、ご自宅への外泊もされています。又、定期的に日常の様子を文書にて送っています。	電話・手紙のやり取りや、お友達やきょうだいの訪問があり、お部屋でゆっくりされています。自宅への外泊やお墓参りなど、家族等による支援があり、一人ひとりの生活習慣を尊重しています。	
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士が関われる様、テーブルの配置を行い、コミュニケーションが取れるようにしています。		
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了しても関係性が終わる事は無いので、相談や支援の要請があれば対応させていただきます。		

自己	外部	項 目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常のコミュニケーションの中で、日々の思いや暮らし方の要望をお聞きし、本人の意向の把握に努めています。	日々の関わりの中で、コミュニケーションを図っており、難聴の利用者には傍でハッキリと話して聞き取り、その言葉をパソコンに入力して、職員間で共有するなど、家族等の意見を交えて検討しています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前に本人、ご家族、担当ケアマネージャーさんから今までの生活歴や生活環境、入所に至る経緯をお聞きし、把握に努めています。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎朝バイタル測定を行い、利用者の健康管理には留意しています。又、変化がある際は記録、職員間で共有し、現状の把握に努めています。			
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	日常生活の中での問題点を担当職員を中心に話し合い、介護計画に反映しています。	一人ひとりが、その人らしい暮らしが出来るよう、本人や家族等の意見を取り入れ、毎日のモニタリングを重視し、必要な支援を組み入れた介護計画となっています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	介護システムほのぼのの個人ケースへ、日々の様子を記録して職員間で情報の共有を図り、介護計画の見直しに活かしています。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	利用者の歩行状態から、注意点、歩行器等の検討を見てもらうため、会社内の作業療法士に依頼しています。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	今年度は中学校の文化祭へ招待して頂き、参加を予定しております。			

自己	外部	項 目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入所時に本人、ご家族から希望をお聞きし、かかりつけ医に受診、往診を受けています。緊急時や日々の中で異常があれば連絡を取り対応しています。	受診・通院介助は、本人や家族等の希望によって対応しています。情報のやり取りは職員が医師に伝え、その結果を家族等に伝えています。訪問歯科や眼科等、複数の医療機関とも連携を図っています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職の日々の関わりの中での気づき等は、社内の看護師に連絡を取り、相談が出来る体制になっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院担当者と連絡を取り合い、情報交換や相談に努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入所時に施設での生活が困難になってきた場合の、説明や話し合いを行っています。次の施設への移行時は関係者に情報を詳しく伝えています。	入居時に、重度化した場合の意向を聴き、事業所として対応できることを説明しています。利用者の状況が変化した場合は、早めに家族等・協力医・主治医と連携を図り、今後について話し合いを持って、方向を決めながら支援をしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時マニュアルに沿って対応しています。救急救命訓練を毎年行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	土砂災害、消防避難訓練を実施しています。地区の情報伝達訓練に参加し、土砂災害訓練では実際の避難場所に入居者と避難しました。BCP委員会を立ち上げ、事業継続計画に取り組んでいます。	地域の土砂災害訓練に、利用者と共に参加しています。年に3回、近隣の同会社の施設と合同訓練を実施しています。	地域関係者の協力を得て、様々な場面を想定して、場面に合った訓練を行い、訓練後は課題を明確にして、次に活かされる対策をされることを期待します。

自己 外部	項目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	研修を行い、社内での接遇委員を中心に、声掛けや対応方法について検討しています。	研修プログラムに沿って、定期的に研修を実施しています。個人情報保護方針及び倫理規定を掲げ、日々の関わりの中で気になった対応や言葉使いは、職員全員で話し合っており、利用者が自己決定しやすい言葉かけをするよう努めています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常の会話から希望を聞いたり、本人の思いや希望を言って頂けるように働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースに合わせ、家庭的な雰囲気でご過ごせる様に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	朝晩のパジャマの着替えを行い、生活にメリハリをつけています。洋服を自分で選んで着ている方もいます。美容師の訪問も利用しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	お誕生日には希望のメニューを取り入れたり、日々の会話の中で食べたい物が出た時にも取り入れています。食事の準備(皮むき、切る、味見)片付けなど、できる事は一緒にしています。	栄養士の献立を参考に、利用者の食べたい物など、季節に応じた献立にしています。訪問日当日は、利用者からのリクエストがおはぎ！だったので、一緒にきな粉・胡麻・あんこで丸めて作り、職員と共に同じテーブルで楽しく食べられました。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	メニューは栄養士が立てた献立を基本に毎食作っています。水分量は午前、午後にお茶の時間を設けるなど確保しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアを行い、補助が必要な方には声掛け、介助を行っています。社内の歯科衛生士と相談しながら、その人に合った口腔ケアの方法を行っています。		

自己	外部	項 目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。	排泄表を記入し、排尿、排便の様子を見ています。夜間は歩行状態に応じてポータブルトイレを使用している方もいますが、日中はトイレでの排泄が習慣になっています。	個人別排泄表に記入し、トイレでの排泄を基本としています。利用者の気持ちを大切に、自立に向け利用者の動作を見守り、一人ひとりについて、常に見直しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	体操を毎日行って身体を動かし、水分摂取にも注意しています。状況に応じて整腸剤を服用しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている。	週4回お風呂を用意して、入って頂けるようにしています。本人の好みのシャンプーを使用されている方もいます。	お風呂は週4回準備して、一人ひとりの体調に合わせて入浴しています。安心して気持ち良く入浴出来るよう職員と話をしたり、好みのシャンプーで洗髪したりと、楽しく入浴が出来るよう配慮しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	目安の時間は設けています。一人ひとりの生活パターンや自主性を尊重し、居室でテレビを観ている方や、しっかり午睡をされる方など、ここでの生活ベースが出来ています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬の管理は出来ています。状態の変化は共有し、その都度対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その人の生活歴や身体状況に合わせて、縫物をして頂いたり、家族からの差し入れを食べられたり、個々の時間を大切にしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナの感染状況によってですが、食事の買い物と一緒に出掛けたり、天気の良い日には施設の周りを散歩しています。家族と食事をしたり馴染みの場所へ出掛けられるように支援しています。	家族と食事に出かけたり、墓参りに行ったりなどの支援をしています。みんなでドライブやお花見、動物園や中学校の文化祭に出かけたり、施設の周りを散歩するなど、歩行困難な利用者は車イスを使用して外出を楽しんでいます。	

自己	外部	項 目	自己評価(事業所記入)	外部評価(評価機関記入)	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ほとんどの方が、家族が管理しています。必要時ご家族に対応して頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	携帯電話を持参され、ご家族にご自分から電話をかけられている方もおられ、希望時には対応させていただいております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ホール共有スペースに、季節感のわかるものや花を飾るなどしています。又、今日が何月何日かわかるよう大きなカレンダーを掛けています。	広いフロアと廊下は整理整頓されています。壁には利用者が描かれた絵画が飾られており、季節の花が置かれています。みんなでフロアにいる時間が多く、大きい窓からは、みんなで作った干し柿が吊るされて、居心地よく過ごされる空間となっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	気の合った方同士と一緒に過ごせるように、席の配置に気を付けています。プリントをしたり、テレビを観たり、思い思いの時間を過ごしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	本人の使用していた使い慣れた寝具や家具を、出来る限り持ち込んでもらっています。ご家族の写真なども飾られています。	居室には、テレビや仏壇、写真などが自分の思い思いの場所に置かれ、仏壇のご先祖様とお話をしたりして、ここが自分の部屋であると、ゆっくり暮らすことが出来るよう配慮されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室は名札や花の名前にするなど、わかりやすく工夫しています。建物は機能的な作りで、トイレや浴室、居室がわかりやすい設計にしています。		